

事業計画書

平成28年度

施設名 十日市場地区センター

指定管理者 アクティオ株式会社

1 施設管理に関する基本方針

- (1) 施設の管理運営について
 - ① 基本理念について
 - ② 予算の執行について
 - ③ サービスのあり方について
- (2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について
 - ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
 - ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
 - ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携
- (3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について
 - ① サービス提供に関する基本的な考え方
 - ② 施設の利用に関する取扱いについて
 - ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
 - ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて
- (4) 施設の経営に関する考え方について
 - ① 本年度の経営に関する基本方針について
 - ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
 - ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて
- (5) 職員体制・情報保持等の考え方について
 - ① 職員の配置及び採用について
 - ② 職員の研修計画について
 - ③ 個人情報保護の措置について
- (6) 緊急時対策について
 - ① 防犯、防災の対応について
 - ② その他緊急時の対応について
- (7) 施設の保全について
 - ① 建物・設備等の保守・点検について
 - ② 清掃業務について
 - ③ 植栽・樹木の維持管理について

2 自主事業に関すること

- (1) 自主事業計画に対する基本的な考え方
 - ① 自主事業について
 - ② 自主事業の運営方法について
 - ③ PRの強化について

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて（必要に応じて別紙(様式任意)で作成をお願いします。）

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

1 施設管理に関する基本方針

(1) 施設の管理運営について

- ① 基本理念について
- ② 予算の執行について
- ③ サービスのあり方について

①基本理念について

アクティオは「来て良かったね」「また来たいね」と感じてもらえることを会社理念としています。人が集まるコミュニティ施設を、より快適に、より楽しく管理運営するため、広い視野からの提案、常に新鮮な情報と洗練されたサービスの提供により広く社会に貢献すべく日々邁進しています。十日市場地区センターにおいても、ふさわしい職員・スタッフを育成し、利用者から「また来たいね」と感じてもらえる運営、講座等の事業を実施し、安心・安全で公平な施設管理を行います。

②予算の執行について

館長とは別に施設内に経理担当者を、また本社財務部財務課に担当者を配置することで経理体制を強化しています。

施設では、本社とは切り離して入出金処理をします。施設運営資金（小口費用や光熱水費、つり銭等経費）は、本社（指定管理事業専門部署と財務部）でチェック後、必要資金を口座に振り込みます。チェック機能が複数あることによって、監視によるムダな経費が抑制できます。これらのチェックを経て、適正な収支報告を緑区へ行っています。

民間企業としての特性を最大限に活かし、創意工夫をもってムダ、ムラ、ムリを排除し、効果的な経費のスリム化に努めます。

横浜市地区センター館長会議では、各地区センターの収支報告を毎月行っています。他の地区センターと比較することができるので、同項目での支出の差異などが生じた場合に原因や解決策を見出すことが可能です。

各地区センターにおける業務に対する問題点や改善策、他行政区での取組み等の情報交換やディスカッションによって、さらに広い視野から各種状況に応じた運営の提案ができます。

③サービスのあり方について

十日市場地区センターは地域住民のための公の施設です。公の施設では、施設の利用許可・施設の貸出・その他の利用者サービス提供に対して「公平性の確保」は欠かせません。

地方自治法244条に明記されている「正当な理由がなく施設利用を拒否したり、不当な差別的取扱いをしたりすることを禁止する」、を順守し、利用者の公平な利用を図ります。

私どもはこの公平性の確保を強く認識し、仕組みの公平性・情報提供における公平性・接遇の公平性を重要視した管理運営業務を行います。

- ・利用案内や利用要綱の策定
- ・利用案内、利用要綱の公表
- ・重要変更時は地区センター委員会・利用者会議等の外部組織の意見をもとに決定
- ・施設専用ホームページ公開
- ・チラシ、ポスターの作成と周辺施設での配架、配布
- ・区広報や館内掲示での情報提供
- ・接遇マニュアルの作成
- ・スタッフ会議での情報共有
- ・定期的な接遇研修や人権研修の実施
- ・災害時の一時帰宅困難者受け入れ施設としての受け入れ訓練の実施
- ・防災研修や防火訓練の実施による安全体制の確立

(火災時の初期消火、迅速な通報、災害発生時の適切な避難誘導、緊急時の指示系統、収束後の対応等)

1 施設管理に関する基本方針

(2) 施設の管理運営に対するニーズ等の把握について

- ① 地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方
- ② 地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方
- ③ 併設施設、他施設、地域活動をする団体、との連携

①地域の特徴のとらえ方と運営への反映の考え方

十日市場地区センターがあるJR横浜線十日市場駅周辺は多くの学校施設が集まり、住宅地と商業ゾーンが一体となっているエリアです。また、図書館、ケアプラザ、子育て拠点などあらゆる年齢層の方が利用できる施設が集中しています。このような多くの人々が行きかう“駅”に近いコミュニティセンターとして、誰もが気軽に利用でき、あらゆる世代と一緒に交流できる施設づくりをしていきます。

そのため、今年度は30周年記念行事として地区センターまつり、夏休みこどもDay、5節句イベントを中心に、年齢層にとらわれない多世代多階層向けの、気軽に参加でき楽しめるイベントを定期的に企画実施していきます。

このようなイベントを通して、地域の他施設、地域で活動する団体などに協力を求め、多くの方に地区センターを有効に利用いただく機会をつくっていきます。

②地域ニーズや利用者ニーズのとらえ方と運営への反映の考え方

地域の方々や利用者の、ご要望・ご意見、不平・不満を把握し、利用者サービスに反映させることが重要と考え、そのニーズの収集を以下の方法で行います。

- ・センター委員会の開催
- ・利用者懇談会の開催
- ・利用者への積極的なお声掛けによる「ホットボイス」の収集
- ・ご意見箱の設置
- ・利用者アンケート、自主事業後アンケートの実施

「ホットボイス」や「アンケート」等で得た意見やご希望は、センターの判断で出来るものは「スタッフ会議」などで迅速に購入や変更を検討し実施します。

状況によっては区に相談の上、センター委員会、利用者懇談会や変更事項確認アンケート等で、利用者全体へ意見を求めます。

また、ルールの変更が必要な場合は、周知期間を設け、予め掲示板による案内や説明をいたします。団体の皆様には来館時に通知書をお渡しし、説明の上で実施します。

③併設施設、他施設、地域活動をする団体との連携

地域コミュニティの醸成や促進を図るため、地域住民、諸団体・機関・施設等と様々な形で連携していきます。

- ・併設施設「みどり福祉ホーム」との相互協力。また共催開催の「みどり福祉ホームまつり」への参加などを積極的に展開。
- ・地域にある他施設「みどり図書館」「地域ケアプラザ・ほのぼの荘」「子育て支援拠点いっぽ」などとの相互協力や共催事業を説教的に展開。
- ・地域活動をする団体「さわやかスポーツ普及委員」「みどり遊学舎」「十日市場団地お楽しみ昼食会」「三保ねんじゅ坂プレイパーク」など、出来るだけ多くの団体へ「イベント」「自主事業」の参加、協力を呼びかけます。
- ・十日市場小学校には「センターまつり」で「十小ソーラン」での参加、十日市場中学校には「夏休みこどもDay」での生徒ボランティア参加を昨年同様呼びかけていきます。
また、毎年日向山神社の祭礼時の「こども御輿」の休憩所としてご利用いただいておりますが今年度もこうした地域行事への積極的な参加を勧めます。

1 施設管理に関する基本方針

(3) 施設でのサービスの提供に対する考え方について

- ① サービス提供に関する基本的な考え方
- ② 施設の利用に関する取扱いについて
- ③ 活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について
- ④ ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

①サービス提供に関する基本的な考え方

職員・スタッフは、常にアンテナを張り巡らせ、利用者のニーズをとらえ、サービスの向上に努めていきます。

- ①利用者の視点に立ち、②小さな取り組みから、③できる限り経費をかけずに、④安全・安心に⑤清潔で快適な、サービスを心がけていきます。

また、接遇研修等を定期的に行い、温かいぬくもりのある、より良い接遇を目指します。

- ・ 新たな利便性の提供
- ・ 快適な雰囲気と空間の提供とホスピタリティあふれる接遇
- ・ 有益な情報の提供
- ・ 魅力ある自主事業の開催
- ・ 防犯・事故対応・防災への迅速で的確な対応

②施設の利用に関する取扱いについて

地区センター条例や仕様書等に基づいた「利用要綱・利用の仕方・利用のルール」を設定し、それを、館内掲示、「利用のご案内」等の施設案内パンフレット、HPで公表し、利用者に十分に理解されるよう対応します。

また、利用者すべてが公平公正な利用が出来るように、既得権やなれ合いを発生させない対応を心掛けます。

③活動の場を必要とする個人や団体に対する相談、調整、助言等について

- ・ 自主事業講師として依頼した方や、地域の方々から事業講師等で紹介していただいた方の講師名簿を作成し、その方の許可を得た上で、ご紹介する等の情報提供を行います。
- ・ 登録団体を情報公開可、不可に分け、公開可団体の一覧表を作成し、サークル活動を希望する個人の方にご紹介します。
- ・ サークル紹介専用の掲示コーナーを設置し、会員募集のご案内が出来るようにします。
- ・ 主事業報告をロビーに貼り出し、チラシだけでは伝わらない事業の様子を写真などでわかりやすくPRし、新規参加への促進策とします。

④ご意見、苦情及び情報公開の取扱いについて

ご意見や苦情は、当施設への期待や関心の表れであると受け止め、誠意ある対応をしていきます。また、苦情発生を未然に防止する努力と、発生した際の迅速で適切な対応に努めます。

- ・ 説明は親切・丁寧・誠意をもって対応、議論ではなく理解を得るような話し方
- ・ 迅速な解決のためのマニュアルの整備と、次への未然防止策立案に活用
- ・ 行政に報告し、情報を共有し、場合によっては協力をお願いする。
- ・ ご意見は、貴重なアドバイスと考え、運営に生かせるものは積極的に取り入れる姿勢を持つ。

情報公開の問い合わせについては、「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に基づき「横浜市十日市場地区センター情報公開規定」を策定し対応していきます。

公の施設の一員として利用者の知る権利を保障するためにも、当施設の運営に関する情報の公開に努めていきます。そのために、日常的な報告書類の整備と分類、情報公開対象書類のファイル化を徹底します

1 施設管理に関する基本方針

(4) 施設の経営に関する考え方について

- ① 本年度の経営に関する基本方針について
- ② 効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について
- ③ 横浜市の環境対策に対する取組みについて

①本年度の経営に関する基本方針について

十日市場地区センターの設置目的を踏まえ、創意工夫のもと、公の施設として法令順守、公平な対応、安心・安全の確保、効率的な管理運営による経費削減、利用者ニーズへの的確に対応する各種事業の実施及びサービスの向上を図ること、これを管理運営の基本方針とします。

基本方針

- ・運営・自主事業を通して、安心・安全の暮らしを発信していきます。
- ・多世代、多階層の交流を図り、地域の方たちの絆を深めていきます。
- ・誰もが参加しやすい多種多様な自主事業を実施していきます。
- ・環境啓発やエコ推進事業の実施により、豊かな自然を次世代へ継承していきます。
- ・情報の充実、おもてなしの心、更なる利用者サービスの向上を図ります。

②効率的な運営、経費節減のための具体的な計画について

効率的な運営、経費の縮減が提供するサービスの質や内容の低下につながらないことを基本としてこれに取り組んでいきます。その具体策として、

- ・本社を介した、より合理的で効率の良い購買管理手法の取入れと実践により、備品費などの徹底したコスト管理を行っていきます。
- ・業務フローや作業標準によるムダ、ムラ、ムリ作業を改善します。
 - * 不必要な電気、空調の消灯、節電・節水の呼び掛け
 - * 電源コンセントカバー取り付け
 - * 必要最低限の購入で、在庫を抱えない⇒事務費・消耗品費のコストを低減
- ・職員・スタッフが、多能工的に何役もこなせる職員マルチワーク体制の確立
業務のローテーションの自由度が増し、作業の平準化がはかれるため、余分な人員配置が不要
- ・利用者への意識喚起
建物や設備を大事に使うことの大切さ、省エネルギー・省資源のための冷暖房の過度な使用の抑制、館内における「ごみゼロ」を目指すための協力をお願いしていきます。

③横浜市の環境対策に対する取組みについて

当地区センターにおいても、横浜市が推進する環境対策に沿って、施設運営管理をしていきます。特に、「温暖化防止の施策」、「緑と水にふれあえる街づくりの推進」、「資源循環型まちづくりの形成」には当地区センターも説教的に参加していきます。

- ・横浜市の資源ごみルート回収に参加
- ・エアコンの温度設定は横浜市の設定に準じて対応
- ・夏場は緑のカーテン実施
- ・施設の樹木、植栽の管理はもちろん、季節に応じた花壇やプランターへの草花の植え込み、館内観葉植物の手入れなど緑のある環境を整備します。

1 施設管理に関する基本方針

(5) 職員体制・情報保持等の考え方について

- ① 職員の配置及び採用について
- ② 職員の研修計画について
- ③ 個人情報の保護の措置について

①職員の配置及び採用について

職員以上のいずれかが必ずシフトに入る「責任ある勤務体制」です。シフト制の勤務となるため、受付業務や図書貸出に関する業務は、全職員・スタッフが対応できます。

職種	人数	業務分掌	勤務形態
館長	1名	事務総括、地区センター委員会等に関する事務、連絡調整（行政および本社）、人事労務統括、施設管理統括、一般庶務、文書事業、受付、地域コミュニティへの参加	5勤2休 (早番・遅番のローテーション)
副館長	1名	館長補佐、自主事業（イベント含む）企画・実施、受付業務	5勤2休 (早番・遅番のローテーション)
職員	2名	経理業務、図書管理、受付業務 スタッフ管理、広報、受付業務	4勤3休 (早番・遅番のローテーション)
コミュニティスタッフ	12名	一般事務（受付、部屋利用申込、部屋確認、利用集計、案内全般）、図書受付、自主事業実施補助、軽微な清掃・洗濯	週3～4日 (午前・午後・夜間のローテーション)
コミュニティスタッフ 美化担当	2名	館内清掃、館内整理整頓、洗濯、植栽管理（水遣り、草刈）	交代勤務(午前)

現従事者は可能な限り継続雇用します。なお、災害時を考慮し、現従事者のほとんどが徒歩で通える地域住民で構成されています。運営に必要な特別な資格は特にありませんが、コミュニティ施設経験値が重要な要素と考えます。よって、コミュニティスタッフから、職員への登用も考慮します。補充が必要な場合は、同様の施設管理運営経験のある社内異動を併用しつつ、当施設の特徴として、地域とのパイプ役となる人材が適任であることから、地域内の雇用を優先し、区民（市民）の就労機会となるよう貢献します。

②職員の研修計画について

実施する基本的な研修計画	管理職/事務員	スタッフ
マナー研修/業務研修/見られ公務員研修	(採用時) 1ヶ月間	(採用時) 3日間
実務研修 (OJT)	必要に応じて	(採用時) 2週間～1ヶ月
リカレント研修/フォローアップ研修	必要に応じて実施	必要に応じて実施
個人情報保護研修/人権研修	年2回/年1回	年2回/年1回
防災研修訓練・防犯訓練	年2回	年2回
役職別特別研修	館長会議等の管理者研修	スタッフ会議での接遇研修等
市主催各種研修等（協働入門研修等）	必要に応じて参加	

専属講師による研修の他、月1回のスタッフ会議で運営ルール、対応方法や方向性、接遇等についてディスカッションやシミュレーションを行っています。

③個人情報の保護の措置について

当社は社長をトップとした個人情報保護マネジメントシステム（PMS）組織を編成し、個人情報の適切な保護を維持するため、定期的（毎年5月）にPMSを見直しています。横浜市個人情報保護条例に準拠したうえで、当社が定めるPMSの最高位の文書である個人情報保護マニュアルには、具体的に各種の規定を定めています。施設では業務フローに沿って、個人情報の管理運営を徹底しています。施設での研修は、個人情報保護マニュアルをもとに、具体的な事例を挙げて、現場で、どのように個人情報の保護を徹底するか協議しています。PMS監査責任者は、内部監査チームを編成し、毎年運用状況の監査を行っています。

【施設での取り組み】

- ・当社個人情報保護方針の掲示
- ・受付パソコン画面にのぞき防止フィルター取付け
- ・個人情報が第三者に見えないよう、考慮
- ・不要になった書類はシュレッダーで処理
- ・ノートパソコン、書類は施錠できる場所に保管
- ・事務所内への職員・スタッフ以外の立ち入りを禁止
- ・電話での個人情報唱の音が漏れないよう、取次ぎ場所を配慮
- ・利用者記入の各種書類に個人情報保護に関する文言を記載
- ・個人情報保護に関する研修の実施（年2回）

1 施設管理に関する基本方針

(6) 緊急時対策について

- ① 防犯、防災の対応について
- ② その他緊急時の対応について

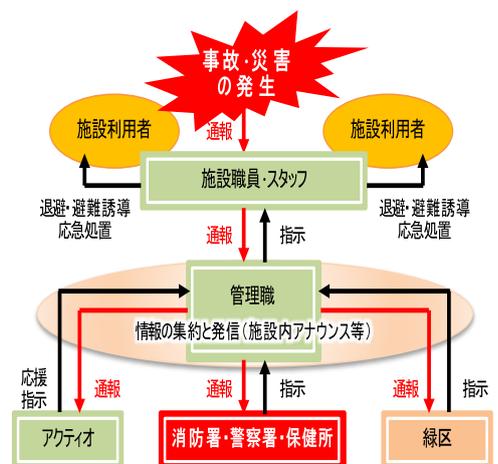
①防犯、防災の対応について

全般	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時連絡網、危機管理マニュアル整備 ・ヒヤリハット活動備蓄と分析 ・施設点検、各部屋の備品チェック (月1回) ⇒「割れ窓理論」に基づく館内外の整備徹底 ・自衛消防隊の確立⇒シフトによる勤務のため、朝礼等でその日の編成を確認
防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・「防犯への備え」を見える化：防犯グッズ (サスマタ・催涙スプレー・カラーボール等) 設置 ・トイレ、更衣室等への盗撮・盗聴器の設置等を防止する「電波クリーニング」を実施 ・1日計6回(日・祝は5回)の館内巡回点検 (コマ毎の時間に巡回し「巡回チェック表」に記載) ・夜間は警備会社に委託 ・受付での来館者把握はもちろんのこと、敷地内の巡回で、問題発生のしやすい環境の発見と改善を行い積極的に犯罪防止に努めています。 ・受付は空席にせず笑顔で挨拶し、明るい健全な施設を作りだすことが、不審者の侵入予防効果につながります。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・館長には消防法に基づく防火・防災管理者資格者を配置 ・防災教育 (適宜)、防災訓練 (年2回)、消防署指導による心肺蘇生法、AED 取扱研修 等 ・ハザードマップ確認と事務所・館内掲示による有事対処案内 ・落下物、倒壊物等の対策 ・地域防災拠点「十日市場小学校」「十日市場中学校」との連携体制の確立 ・広域避難場所「昭和大学運動場」の把握

②その他緊急時の対応について

速やかに緑区に連絡し、判断を仰ぐことのできる体制を整え、緊急時にも迅速かつ安定した業務を行います。

- ・自衛消防隊 (通報連絡・初期消化係・避難誘導係・応急救護係)
⇒緊急事態に合わせた役割の遂行 (通報、初期消火、避難者の呼びかけと誘導、応急手当等を行い被害拡大の防止)
- ・全スタッフが119番通報段取りメモを常備
- ・十日市場地区センター管理業務緊急連絡表の設置
⇒地域振興課への連絡
(休日や夜間でも連絡可能な行政担当者の連絡先を事前に確認)
⇒緊急事態により勤務時間外職員の招集
- ・当社危機管理本部設置発動⇒情報収集の一元化のうえ横浜市緑区と連携
- ・情報発信拠点として地震速報用テレビの設置
- ・AED/災害用ベンダーの設置 (有事の際に、飲料が取り出せるベンダー)
- ・最大ポスト数 (職員・スタッフ用) 災害時用備蓄確保



災害に強い地域社会づくりが求められる今、指定管理者として求められているのは、「施設内の管理」だけではありません。防災まちづくり拠点の1つとして、地域と連携して当施設ができる防犯・防災活動を行い、地域住民の安全・安心に努めます。

1 施設管理に関する基本方針

(7) 施設の保全について

- ① 建物・設備等の保守・点検について
- ② 清掃業務について
- ③ 植栽・樹木の維持管理について

①建物・設備等の保守・点検について

施設の維持管理業務については専門会社へ委託し、弊社が管理を行う体制で実施します。本社に設備全般を管理・指導する担当者を配置し、その設備担当が月に1回以上の頻度で施設に赴き、指導やアドバイスをを行います。

不具合等が発生した場合も迅速に対応し、施設担当は必要に応じて現地調査や立会いも行き、改善に努めます。

法令や仕様書で定められた維持管理業務は専門会社に委託し、必要な回数の定期点検及び調整、部品の交換等を行い、当施設が持つ機能を最大に発揮できるよう、安定的かつ確実に実施します。修繕については年間計画を立て、利用者の安心安全のため予防保全に努めます。

②清掃業務について

館内の日常清掃業務は美化スタッフが行います。また、軽微な清掃につきましては、美化スタッフに係わらず、職員・受付スタッフも行います。

定期清掃は休館日に設定しロビー等の共有スペースは、委託した専門会社が行い、各部屋はスタッフ全員が分担して清掃を行います。

③植栽・樹木の維持管理について

敷地内の植栽・樹木については、雑草除去、剪定等は専門会社に委託します。また、外回りの清掃は美化スタッフが毎日掃き掃除、簡単な除草作業を行います。

	主な業務 (回数等)
建物保守管理	・建物設備総合巡視点検(年6回)
設備機器保守管理	・エレベーター保守点検(年12回) ・自動扉保守点検(年3回) ・自家用電気工作物点検(年12回)、年次点検1回 ・消防用設備等定期点検(年2回)
保安警備	・機械警備(閉館～翌日開館まで毎日)
清掃	・日常清掃(開館時毎日) ・定期清掃(床月1回、タイル年6回、ガラス年4回、フローリング・カーペット年2回、換気口・換気扇年2回)
空調衛生保守管理	・空調設備保守点検 冷却棟点検清掃(年2回)、冷暖房切替時点検(年4回)、空調用自動制御機器保守点検(年1回)、フィルター清掃(年2回)、水処理装置検査(年3回)、ヒートポンプ(年1回)、空気調和器点検(年1回) ・冷水器保守点検(年1回)・飲料水水質検査(年1回) ・レジオネラ属菌検査(年3回)・受水槽清掃(年1回) ・害虫駆除(年2回)
植栽・樹木	・施設周辺雑草除去(随時)、植栽・樹木管理(年1回)
廃棄物処理	・「ヨコハマ3R夢プラン・G30」に参加実施

2 自主事業に関すること

(1) 自主事業計画に対する基本的な考え方

- ① 自主事業について
- ② 自主事業の運営方法について
- ③ PRの強化について

①自主事業について

自主事業を実施することは、地域住民が事業に参加し、団体やサークルを核とし新しい地域コミュニティを創造することであるとされています。それと同時に施設の設置目的の具現化、世代間交流機会の提供、空き部屋の活用など多くの意味合いがあり、施設の活性化はもとより、地域の活性化においても非常に重要な事業であると考えます。

②自主事業の運営方法について

今年度は30周年記念行事として地区センターまつり、夏休みこどもDay、5節句イベントを中心に、年齢層にとらわれない多世代多階層向けの、気軽に参加でき楽しめるイベントを定期的に企画実施していきます。

また、事業のマンネリ化を減らし新しい事業を展開していきますが、当地区センターならではの人気講座は継続して行っていきます。

地区センターまつり	地区センターで活動しているサークルの実技発表や作品展示の場を設けるとともに、地域の方が気軽に楽しんで参加いただける場を提供します。	11月3日・4日実施予定
夏休みこどもDay	地域の子どもたちと中学生などの多世代が楽しく交流し、遊び学べる場を提供します。	7月23日実施予定
端午・七夕・重陽・七草・桃の5節句	日本文化の紹介と様々な階層年齢層の方が一緒に楽しみ、交流することが出来る、様々なイベントを実施します。地域で活動する団体や施設、企業、地域の方にも協力をお願いして、該当する節句の前後に節句に関連する自主事業を盛り込んでいきます。	5.7.9.1.3月に実施予定
健康講座	エクササイズ・ストレッチ・シニアヨガ・リンパドレナージュ・笑いヨガ・盆踊り 等	通年で実施
料理講座	パン教室・ケーキ教室・親子で一緒に楽しむそば打ち・おもてなし料理・中学生のためのお弁当講座 等	年12回程度実施
企業共催講座	日清製粉・日本製粉・森永乳業 等	年3,4回程度実施予定
シニアカフェ	シニアだけでなくどなたでも参加可能、地域ケアプラザやほのぼの荘などにも声掛けして共催開催を計画	年10回実施予定
クリスマスロビーコンサート	今年度は5節句イベントの関係で、ロビーコンサートはクリスマス時期の1回のみを計画。昨年度同様、地域の方々に本格的な「歌のコンサート」を楽しんでいただきます。	年1回

③PRの強化について

口コミによる宣伝効果は非常に高く、今年度は自治会・小学校・中学校・地域施設などのポスターやチラシ配架に力を入れて、同時に参加協力を呼びかけていきます。

- ・自主事業チラシ、ポスターの館内掲示、ホームページの運営、緑区広報への掲載
- ・地区センター便りの定期発行
- ・町内回覧や近隣小学校へのチラシ配布依頼
- ・近隣施設、商業施設などへのチラシ配架、ポスター掲示依頼
- ・区民活動支援センターの広報誌、地域タウン誌等への掲載依頼

3 基本協定書等に定めた目標達成に向けた取り組みについて（必要に応じて別紙(様式任意)で作成をお願いします。）

- (1) 稼働率向上に向けた取り組みについて
（目標 稼働率 60.5%）
- (2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて
（目標 利用料金収入平成 26 年度実績 4,107,100 円の 2%増 4,148,000 円）
- (3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて
- (4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

(1) 稼働率向上に向けた取り組みについて

平成 26 年度の実績で稼働率の低い午後②の時間帯と料理室の稼働率を向上させ、他の部屋時間帯は現状を維持するための施策を講じていきます。平成 26,27 年度から午後②、料理室の稼働率向上に取り組んできた成果が徐々に出て、午後②を利用する団体も増えて来ています。今後も自主事業からのサークル立ち上げや新規団体による利用向上を図ります。また、料理室はこれまで通り自主事業を積極的に実施していく他、1 日 1 団体利用を 2 団体利用にするために、夜間割引などを実施して大学生や高校生のサークル利用を増やし、稼働率の向上を図ります。

(2) 利用料金収入増に向けた取り組みについて

今年度は体育室の天井工事が夏場の 4 か月間にわたり実施されるため、利用料金の向上は非常に厳しい状況です。目標では 414 万以上を掲げていますが、その数字を達成するためには、空き部屋・空き時間のロスを減少させるしかなく、応当日に抽選で外れたサークルのフォローをいかにしていくかが大切です。ただ、稼働率が 60%を超える部屋が多く、予約が取りにくくなっていると言う意見も多く出ている現状では、比較的稼働率の低い和室や中会議室にいか誘導していくかがカギになります。そのため応当日抽選に外れた方対象の中会議室の半額利用割引を実施し、その対策に充てます。また、体育室以外の部屋に午後②、夜間の学割制度を設け大学生や高校生の利用促進を促していきます。

(3) 幅広い年齢層を対象とした自主事業の展開に向けた取り組みについて

開館 30 周年を記念したご節句イベントを企画して、従来の自主事業とは違った形での展開を図ります。多世代の方が一緒に気軽に参加でき、楽しめる場を多くつくります。内容もバラエティーにし、地域で活動する団体や施設、企業、地域の方にも協力をお願いして、該当する節句の前後に節句に関連する自主事業を盛り込んでいきます。それ以外の自主事業も色々な年齢層を対象にしたものをそれぞれ実施していきます。

(4) その他、提案書提案内容達成に向けた取り組みについて

目標達成を常に意識し、継続的改善の仕組み作りや管理運営の情報を職員・スタッフが共有します。そして常にアンテナを張り巡らし利用者のニーズをとらえ、目標達成のためにどう生かすかを職員全員で模索し実行していきます。また、行政や住民に向けて説明責任を果たせるツールにつながるモニタリングを前向きにとらえ、2 段階にわたるセルフモニタリングを実施していきます。

自主事業計画書

施設名 十日市場地区センター

事業名	①募集対象	自主事業予算額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
地区センターまつり	どなたでも						
		300000	300000				
夏休みこどもDay	どなたでも						
		200000	200000				
端午の節句イベント	どなたでも						
		30000	30000				
七夕の節句イベント	どなたでも						
		30000	30000				
重陽の節句イベント	どなたでも						
		30000	30000				
人日(七草)の節句イベント	どなたでも						
		30000	30000				
桃の節句イベント	どなたでも						
		30000	30000				
ロビーコンサート	どなたでも						
	50人						
	無料	20000	20000		20000	0	0
あい・らぶ・おりがみ(全8回)	小学生以上						
	10人/回						
	300円/回	28000	4000	24000	0	4000	24000
シニアカフェ・山本君と歌おう!(10回/年)	どなたでも						
	20人/回						
	100円/回	64080	44080	20000	55680	0	8400
金曜がんばるエクササイズ(全27回)	成人						
	60人/回						
	250円/回	408078	3078	405000	240543	0	167535
金曜のんびりエクササイズ(全27回)	成人						
	60人/回						
	250円/回	408078	3078	405000	240543	0	167535
日曜の朝はストレッチ A・Bグループ (全38回)	成人						
	A16人・B16人/回						
	400円/回	572128	85728	486400	507832	0	64296
シニア・ヨガ(全10回)	成人						
	15人						
	5000円	101810	26810	75000	89090	0	12720

笑いヨガ(3回/月)	どなたでも						
	10人/回						
	500円/回	17520	2520	15000	15000	0	2520
盆踊りを楽しもう(4回/年)	どなたでも						
	15人/回						
	100円/回	17520	11520	6000	15000	0	2520
セルフ・リンパドレナージュ (全6回)	成人						
	10人						
	6000円	44528	8528	36000	33408	5000	6120
パン教室(6回/年)	成人						
	12人/回						
	1500円/回	134568	26568	108000	33408	72000	29160
ケーキ教室(6回/年)	成人						
	12人/回						
	1800円/回	159768	30168	129600	33408	115200	11160
簡単ランチプレート	成人						
	12人						
	1500円	23028	5028	18000	5568	15600	1860
中学生のためのお弁当講座	中学生						
	12人						
	500円	17136	11136	6000	11136	6000	0
親子でつくる年越しそば	親子						
	6組12名						
	2000円	19248	7248	12000	5568	10800	2880
企業共催料理講座 クリスマスシュトーレン	成人						
	12人						
	1500円	18000	0	18000	0	18000	0
企業共催料理講座 にくまんあんまんをつくろう	成人						
	24人						
	500円	10000	0	10000		10000	0
企業共催料理講座 親子でつくりよう動物パン	成人						
	10組20人						
	500円	10000	0	10000		10000	0
企業共催料理講座 中華でつくるおもてなし料理	成人						
	20人						
	500円	10000	0	10000		10000	0
映画で学ぶ英会話 (全10回)	成人						
	12人						
	4000円	61380	13380	48000	55680	1200	4500
わが町歴史講座	成人						
	20人						
	300円	9929	3929	6000	8909	0	1020
縫わずにつくる長財布	成人						
	10名						
	2200円	26588	4588	22000	5568	20000	1020
ポーセランドール(全4回)	成人						
	12人						
	2000円	47232	23232	24000	22272	21600	3360
柏崎先生の図工教室 (6回/年)	成人						
	15人/回						
	700円/回	92448	29448	63000	33408	54000	5040

キッズ・フラ(全10回)	小学生						
	12人						
	4000円	84080	36080	48000	55680	0	28400
おもちゃ病院(2回/年)	どなたでも						
	12人/回						
	無料	8000	8000	0	8000		0
合 計		2413147	408147	1981000	1495701	373400	544046

センターまつり300,000円、夏休みこどもDay200,000円、5節句イベント150,000円の経費はニーズ対応費
事業ごとの事業内容等は別紙「自主事業別計画書」に記載してください。

自主事業別計画書

施設名 十日市場地区センター

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地区センターまつり	<p>【目的】</p> <p>地区センターで活動しているサークル・団体の皆さんの実技や展示の発表の機会を設けるとともに、模擬店や様々な体験コーナーを設け、地域の方にも楽しんで交流していただける場を提供します。</p> <p>【内容】</p> <p>活動団体の作品展示、実技発表、活動団体による体験コーナー特別講演会、地域のボランティア団体による模擬店、地域のお店の商品販売、など</p>	11/3,4 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
わんぱく① 夏休みこどもDay	<p>【目的】</p> <p>地域の子どもたち、特に小学生を中心とした子どもたちが楽しく学び遊べる場を提供します。夏休みの課題のヒントになるような体験講座も実施します。</p> <p>【内容】</p> <p>みんなで楽しむ不思議体験部屋、工作教室、色々体験コーナー</p>	7/23 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
端午の節句 イベント	<p>【目的】</p> <p>日本文化の紹介と様々な階層・年齢の方が一緒に楽しめ、交流する事を目的とします。</p> <p>【内容】</p> <p>手作り鯉のぼりや兜を展示し、端午の節句を紹介する。 菖蒲を使ったフラワーアレンジメント講座。 小学生のための簡単和菓子講座「柏餅をつくろう」の開催。 こども向け「手作り鯉のぼりのコーナー」の設置。</p>	4/29 1回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
七夕の節句 イベント	<p>【目的】</p> <p>日本文化の紹介と様々な階層・年齢の方が一緒に楽しめ、交流する事を目的とします。</p> <p>【内容】</p> <p>「七夕飾りをつくろう」コーナー、七夕飾りと短冊コーナーの設置 七夕を盛り上げる「夏の簡単リース講座」の開催 「織姫彦星」の物語を知るお話し会の開催 天の川と七夕の星を見るプラネタリウムの開催</p>	7/3 1回

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
重陽の節句イベント	<p>【目的】</p> <p>日本文化の紹介と様々な階層・年齢の方が一緒に楽しみ、交流する事を目的とします。</p> <p>【内容】</p> <p>重陽の節句の紹介パネルの展示。</p> <p>長寿のための健康講座の開催(体操or料理教室など)</p> <p>菊を使った季節のフラワーアレンジメント講座。</p> <p>身近な防災グッズ紹介講座と地域の方のフリーマーケットの開催。</p>	9/3 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
人日(七草)の節句イベント	<p>【目的】</p> <p>日本文化の紹介と様々な階層・年齢の方が一緒に楽しみ、交流する事を目的とします。</p> <p>【内容】</p> <p>「お正月のフラワーアレンジメント」講座の開催</p> <p>お餅つき体験と手作りおもちゃで遊ぶ体験。</p> <p>つきたてお餅を使った七草粥とお汁粉を味わうコーナー</p>	1/9 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
桃の節句イベント	<p>【目的】</p> <p>日本文化の紹介と様々な階層・年齢の方が一緒に楽しみ、交流する事を目的とします。</p> <p>【内容】</p> <p>桃の花を使ったフラワーアレンジメント講座</p> <p>まるごと1日、桃の節句の女の子のためのお茶会を和室で開催。</p> <p>お琴の調べを楽しみながら、お抹茶と雛あられで楽しむお茶会です。</p>	3/3 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマスロビーコンサート	<p>【目的】</p> <p>日頃なかなか体験することのできない、本格的なコンサートを、近場で気軽に楽しんでいただける機会を提供します。特に小さなお子さんにも楽しんでいただけるコンサートを企画します。</p> <p>【内容】</p> <p>昨年好評だったオペラ系の歌のコンサートを内容を変えて行います。</p>	12/3 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニアカフェ・山本君と歌おう!	<p>【目的】</p> <p>声を出すことは健康につながります。</p> <p>毎回のテーマに沿った歌を皆で歌い、一緒におしゃべりも楽しみ交流していただくのが目的です。</p> <p>【内容】</p> <p>歌声喫茶のように、毎回「70年代ポップス」「80年代ポップス」「童謡」などテーマを決めた歌を皆さんで楽しく歌います。</p>	12/3 年1回

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あい・らぶ・おりがみ	<p>【目的】</p> <p>小学生から大人の方まで、どなたでもご参加いただき、多世代で一緒に楽しみながら、脳トレやコミュニケーションにつなげていきます。</p> <p>【内容】</p> <p>季節の折り紙、暮らしを彩る折り紙を皆さんで折ります。</p>	<p>5月～6月全4回</p> <p>11月～12月全4回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
金曜エクササイズ	<p>【目的】</p> <p>中高年を対象にした体操教室です。運動が得意な方もちょっと苦手という方も、「継続は力なり！」で仲間と楽しく体操することで自然に体力がつくのがねらいです。</p> <p>【内容】</p> <p>前半は有酸素運動が多めのがんばるグループ、後半はストレッチが多めののんびりグループにわかれて活動します。</p>	<p>4月～6月全12回</p> <p>11月～2月全15回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
日曜の朝はストレッチ	<p>【目的】</p> <p>ストレッチをおこなうと、血流が良くなり冷え症も改善するといわれています。また、基礎代謝もあがり、アンチエイジングにも効果があると言われていいるので、様々な年齢層の方に参加いただける健康を増進させるための講座です。</p> <p>【内容】</p> <p>どなたにでもできる静かに無理なくおこなうストレッチ体操です。</p>	<p>4月～9月全18回</p> <p>10月～3月全20回</p> <p>通年開催講座</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
シニア・ヨガ	<p>【目的】</p> <p>シニアだけでなく、身体が固い方や運動に慣れていない方など、どなたでもご参加いただける健康講座です。</p> <p>【内容】</p> <p>前半はゆっくり身体をほぐし、後半の時間でヨガをおこないます。</p>	<p>5月～7月</p> <p>全10回</p>
事業名	目的・内容	実施時期・回数
笑いヨガ	<p>【目的】</p> <p>「笑いヨガ」とは「笑いの体操」と「ヨガの呼吸法」を組み合わせた運動です。笑いが健康に良いことは知られており、コミュニケーションの潤滑油として人間関係も豊かにします。</p> <p>【内容】</p> <p>ひたすら大きな声で笑うことで、楽しい気分になることを体験してもらいます。笑いが健康に良いことは知られていますが、運動効果も高い健康法を学んでいきます。</p>	<p>5, 6, 7, 8, 9月</p> <p>各月1回</p>

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
盆踊りを楽しもう！	<p>【目的】 誰でも簡単に踊れる盆踊りを楽しく踊り身体を動かすことで、身体と心の健康を目指します。</p> <p>【内容】 音頭に合わせてカラダを動かし、「盆踊りで健康に楽しく！」を合言葉にみんなで楽しく踊ります。</p>	7月、8月 4回
セルフ・リンパドレナージュ	<p>【目的】 自分のカラダを自分でケアする方法を学びます。リンパを流すことでカラダの巡りをよくし、健康管理に役立てましょう。</p> <p>【内容】 身体の部位別に6回に分けてリンパの流し方を学んでいきます。</p>	5月～7月 全6回
パン教室	<p>【目的】 添加物のない手作りの良さを見直し、パン作りの原理原則を学び、自宅でもできるように基本を練習します。</p> <p>【内容】 前半の5月～6月は調理パンをで、こねて発酵、成型、焼き上がりまでを学び、後半の10月～11月では食パンをつくります。</p>	5月～6月全3回 10月～11月全3回
ケーキ教室	<p>【目的】 季節に合ったお菓子づくりをおこないます。ご自分がつくったものはそのまままるごとお持ち帰りでき、帰宅後にも楽しめる講座です。</p> <p>【内容】 5月はシュークリーム、6月はオリジナルロールケーキ、7月はえごまのトルテ、12月はクリスマスケーキを作ります。1月、2月も季節に合ったケーキ作りを学びます。</p>	5月・6月・7月 12月・1月・2月 各月1回
中学生のためのお弁当講座	<p>【目的】 家庭料理を教えるベテラン講師が、中学生が自分でお弁当が作れるように指導する講座です。</p> <p>【内容】 夏場の食品の取り扱いや、お弁当を作る時の食材の選び方、注意しなければいけない事を最初に学び、献立を考えて、実際の調理の仕方を学び、自分のお弁当を作り上げます。</p>	7月2回

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かんたんランチプレート	<p>【目的】 家庭で気軽にランチパーティを楽しめるランチプレートの作り方学びます。</p> <p>【内容】 インド料理のランチプレートでカレーを中心に2、3品つくります。</p>	10月3回
親子でつくる年越しそば!	<p>【目的】 日本伝統食であるそばを打つことに親子で挑戦します。年越しそばを自宅で手作りして、家族で年越しの行事を楽しんでもらうことが目的です。</p> <p>【内容】 粉をこねて生地をつくることから始め、そばを打ち、切り、茹でるといった工程を体験していただきます。もちろんお持ち帰り用のそばも作りますので、おうちでみんなで手作りそばを楽しめます。</p>	12月1回
企業共催料理講座	<p>【目的】 企業共催にすることで、安価な経費で、その道のプロからの提案を家庭の料理に生かせることができます。</p> <p>【内容】 12月 日本製粉共催 クリスマスシュトーレンをつくろう。 1月 森永乳業共催 中華のおもてなし料理 2月 日清製粉共催 にくまんあんまんをつくろう。 3月 日本製粉共催 親子でつくる動物パン</p>	12月1回 1月1回 2月1回 3月1回
映画で学ぶ英会話	<p>【目的】 教材を映画のワンシーンにすることで身近に英会話に親しみ楽しく学び事を目的とします。</p> <p>【内容】 映画見ながら学ぶことで、文章だけでなく、使う場面・語彙のもつ響きまで学べる英会話講座です。</p>	4月～6月全10回
縫わずにつくる長財布	<p>【目的】 カルトナーージュの技法を使って縫わずに長財布を作ります。オリジナルの財布をつくる楽しさを体験してもらうのが目的です。</p> <p>【内容】 布地を折ってのりづけしていくカルトナーージュの技法を学びます。</p>	4月1回

(別紙)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わが町・歴史講座	<p>【目的】 横浜鉄道(現JR横浜線)歴史の足跡を遺跡や資料をもとに、郷土史研究者から学んだり、史跡散策に出かける講座です。</p> <p>【内容】 講座1: 座学にて横浜鉄道由来の歴史を学びます。 講座2: 座学で学んだ内容に沿って散策します。</p>	11月2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マイ・ポーセリンドール	<p>【目的】 磁器粘土をつかったオリジナル人形をつくります。絵に自信がなくても大丈夫です。絵柄部分はシール感覚で使える転写紙を使います。</p> <p>【内容】 磁器粘土の扱い方、ステンシル、スポンジング、お好きな方は絵を描くこともできます。ポイント使いでワンランクアップが楽しめます。焼き上げは先生にお任せし、後日お渡しになります。</p>	7月4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人のための図工教室	<p>【目的】 小学生の頃、図工の時間に習ったあれこれ。大人だって作るの大好き! 童心に帰って楽しむことが目的です。</p> <p>【内容】 月ごとに色々なものにチャレンジします。 七宝焼きや版画、シールを使った抽象画など、色々な楽しいことを講師が提案していきます。</p>	6月・7月・8月 10月・11月・12月 各月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズフラ	<p>【目的】 敷居の高いおけいこ事と思われかちな、フラ教室を気軽に体験できる機会を地域の小学生に提供するのが目的です。</p> <p>【内容】 フラは手の動作一つ一つの意味があり、それを1つの曲の中で覚えていきます。10回の講習で1曲の完成を目指して指導します。 フラへの興味を育て、継続できることを目指します。</p>	8月～10月10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃ病院	<p>【目的】 物を大切に作る心を養います。おもちゃを修理する過程を見ることで、おもちゃの仕組みを知ることができます。</p> <p>【内容】 おもちゃドクターが丁寧に修理します。状態によっては入院してお預かりになります。また、部品によっては実費がかかることもあります。 希望があれば治し方も教えてもらえます。</p>	7月、3月 各1回

平成28年度 「横浜市十日市場地区センター」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	36,928,000		36,928,000		36,928,000	横浜市より
利用料金収入	4,148,000		4,148,000		4,148,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	1,981,000		1,981,000		1,981,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	740,000	0	740,000	0	740,000	
印刷代	250,000		250,000		250,000	
自動販売機手数料	450,000		450,000		450,000	1台分
駐車場利用料金収入	0		0		0	
その他（ ）	40,000		40,000		40,000	イベント売上、預金利息、古紙回収
収入合計	43,797,000	0	43,797,000	0	43,797,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	21,120,000	0	21,120,000	0	21,120,000	
給与・賃金	18,000,000		18,000,000		18,000,000	
社会保険料	1,300,000		1,300,000		1,300,000	
通勤手当	1,508,000		1,508,000		1,508,000	
健康診断費	12,000		12,000		12,000	
勤労者福祉共済掛金	300,000		300,000		300,000	労災引当金
退職給付引当金繰入額			0		0	
事務費	2,087,000	0	2,087,000	0	2,087,000	
旅費	30,000		30,000		30,000	
消耗品費	700,000		700,000		700,000	
会議賄い費	15,000		15,000		15,000	
印刷製本費	80,000		80,000		80,000	
通信費	250,000		250,000		250,000	
使用料及び賃借料	60,000	0	60,000	0	60,000	
横浜市への支払分	60,000		60,000		60,000	
その他	0		0		0	
備品購入費	400,000		400,000		400,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	280,000		280,000		280,000	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	12,000		12,000		12,000	
リース料	200,000		200,000		200,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	10,000		10,000		10,000	
事業費	2,413,147	0	2,413,147	0	2,413,147	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	2,413,147		2,413,147		2,413,147	
自主事業費			0		0	
管理費	11,382,472	0	11,382,472	0	11,382,472	
光熱水費	6,350,000	0	6,350,000	0	6,350,000	
電気料金	3,200,000		3,200,000		3,200,000	
ガス料金	2,150,000		2,150,000		2,150,000	
水道料金	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
清掃費	641,088		641,088		641,088	
修繕費	1,130,000		1,130,000		1,130,000	
機械警備費	220,320		220,320		220,320	
設備保全費	3,041,064	0	3,041,064	0	3,041,064	
空調衛生設備保守	1,338,984		1,338,984		1,338,984	
消防設備保守	140,400		140,400		140,400	
電気設備保守	852,120		852,120		852,120	エレベーター、自動ドア、電気工作物
害虫駆除清掃保守	64,800		64,800		64,800	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	644,760		644,760		644,760	設備点検、植栽管理、ウォータークーラー
共益費	0		0		0	
公租公課	1,605,500	0	1,605,500	0	1,605,500	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,605,000		1,605,000		1,605,000	
印紙税	500		500		500	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	3,805,881	0	3,805,881	0	3,805,881	
本部分	3,527,000		3,527,000		3,527,000	本社人件費、事務経費負担分
当該施設分	278,881		278,881		278,881	給与計算外注、HP他宣伝費
二一ズ対応費	1,383,000	0	1,383,000	0	1,383,000	
支出合計	43,797,000	0	43,797,000	0	43,797,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		